

# いばらき自転車活用推進計画 改定のポイント

資料2

## <現行計画のポイント>

- 観光振興に向けサイクルツーリズム推進と、県民の自転車活用推進の両輪で自転車活用を目指す
- 特にサイクルツーリズム推進に着目して、幹線となるモデルルート<sup>①</sup>の整備や情報発信、ガイド育成やサイクリング拠点整備等に注力する

## <現行計画の主な取組・効果、課題>

- サイクルツーリズム推進に向けた取組は着実に進む一方で、客層が限定的かつ日帰り客が中心であるため、観光消費が小さい
- 県民の自転車活用推進に向け、
  - 県管理道路の環境整備や市町村の計画策定が進む一方で、自転車利用に必要な環境整備の要望として、自転車通行空間の快適性が最上位
  - ライフステージ別での安全教育を進め、保険加入率は約5割となった一方で、自転車利用者の約7割は過去1年以内に自転車交通ルールを違反
  - 健康増進等につながる自転車活用を促進する一方で、健康のために自転車を利用することの重要度を認知している人は6割程度

## いばらき自転車活用推進計画 改定版

- サイクルツーリズムのさらなる推進のため、客層の拡大や宿泊客の増加に向け、セグメントやルートに応じたサイクリング環境の提供(例:サイクリングツアーの実施)やモデルルート<sup>①</sup>を迷わず、安全安心に走行できるルートの充実に向けた検討に取り組む。
- 県民の自転車活用推進についても注力し、県全域における自転車通行空間等の整備や交通安全教育の推進、自転車活用の普及啓発の取組を着実に進める

### <計画で目指すこと>

【本計画で目指すべき将来像】  
誰もが安全・快適に自転車を活用することができる地域社会の実現

### 【実現に向けた基本的な方針】



【目標1】  
サイクルツーリズムの推進による地域の活性化

【目標2】  
自転車交通の役割拡大に向けた自転車通行空間の整備

【目標3】  
自転車事故のない安全で安心な社会の実現

【目標4】  
自転車を活用した県民の健康増進と環境対策

### <今後5年間での施策のポイント>

迷わず、安全安心なモデルルートの充実、客層拡大・宿泊客増加に向けた環境整備

- ・より迷わず、安全安心なモデルルートの充実に向けた検討【**拡充**】
- ・体験型ツアーや宿泊滞在につながるイベント等の推進【**拡充**】

県全域の自転車通行空間等の整備に向けた市町村との連携・支援

- ・自転車通行空間の整備推進と市町村自転車活用推進計画策定の促進【**継続**】

交通安全教育の更なる推進

- ・ライフステージ等に応じた自転車安全教育・啓発の推進【**継続**】
- ・自転車損害賠償保険等の加入促進【**継続**】

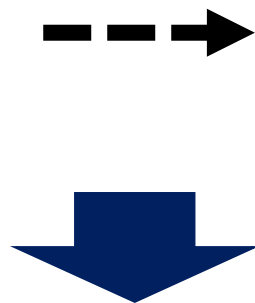
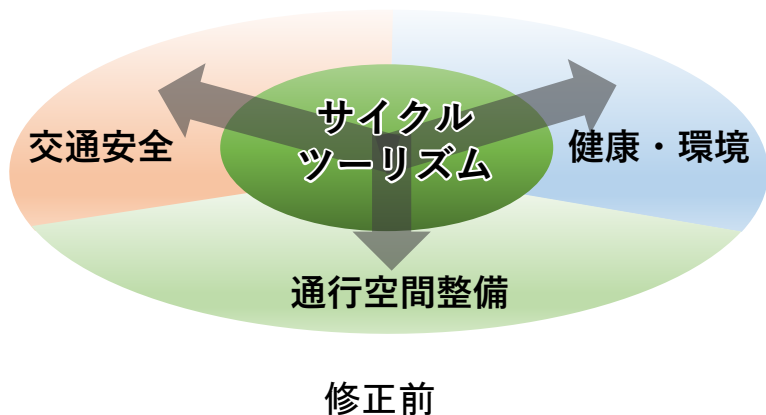
県民への自転車活用による効果等の広報啓発の推進

- ・企業の自転車通勤制度導入促進のための支援【**新規**】
- ・環境負荷低減に関する広報啓発推進【**新規**】

# 三章 自転車活用を通じた目指すべき将来の姿に係る検討事項

## 【実現に向けた基本的な方針】

※県の施策の方向性も考え、当初は左図で検討し、素案に記載。しかしながら、目指すべき将来像の安全・快適も柱となることから、右図をベースとする方向で修正検討



## 【本計画で目指すべき将来像】

誰もが安全・快適・**楽しく**自転車を活用することができる地域社会の実現

※2月17日に実施した、県内サイクリストを集めた「いばらきサイクルツーリズム・自転車ネットワーク勉強会」において、いばらきサイクルツーリズム構想の目指す将来像を

国内外からのサイクリストが「安心して」「何度も」「楽しめる」サイクリング王国いばらきの実現

で了解。以上を受けて、計画における目指すべき将来像にも、「楽しく」という文言の追加を検討